

氏名： 松崎 毅 (MATSUZAKI Takeshi)  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
学位： 文学修士 (1985 東京都立大学)  
職名： 准教授  
専門分野： イギリス文学、特に 17 世紀詩  
E-mail： matsuzaki.takeshi@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

17 世紀 / 王党派 / Aphra Behn / イギリス / ジャンル

#### ◆主要業績

- ・「私」の沈黙が語るもの — “The World”における「説教師」のペルソナ 『英文学研究』第 82 巻, pp.1-13 (2005)
- ・「我らが象形文字たる王」 — 17 世紀イギリス王党派詩と隠蔽の政治学 『お茶の水女子大学人文科学研究』第 1 巻, pp.191-203 (2005)
- ・イギリス内乱期王党派の唄・俗謡・連祷—言論統制と大衆煽動 『お茶の水女子大学人文科学紀要』第 57 巻, pp.177-88 (2004)
- ・川瀬のゆくえ—『釣魚大全』の寓意 『博物誌の文化学—動物篇 (鷹書房弓プレス)』所収 (2003)

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

17 世紀イギリス王党派文学をジャンルの使用という観点から研究している。内乱における敗北と議会派政府による言論統制という抑圧的な政治状況下、イギリス王党派文学は政治的に不穏当な言説を偽装する手段として極めて巧みにジャンルを使用した。これは、テキストの読みが社会構築された解釈の枠組みに依存するものにすぎないという事実を実証するとともに、解釈の枠組みがどのように社会構築されるか、またそれがいかに意図的に構築されるかという問題に手掛かりを与える。19 年度は、Aphra Behn の詩を中心テキストとし、哀歌や賞賛詩などのジャンルが、ジャンル自体の持つコードを通じ、一見してアポリティカルなテキストのなかにどのようにして政治的・公的言説を生成するかという問題を中心に研究を行った。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

コア英語科目は、近年の学部生の語彙力と文法理解の低下に歯止めをかけるため、昨年度に引き続き語彙・文法について重点的に小テストを行い、全体的な英語運用能力の強化に努めた。

学部専門科目は、「英語圏言語文化概論」で英語のポピュラー・ミュージックの歌詞を題材に、さまざまな地域と時代で異なる英語文化の特質を論じ、「英文学史Ⅰ」では、古英語期からロマン派にいたるまでの英文学の流れを論じた。また、「英米文学研究方法論Ⅱ」では、ポストマルクス主義批評、新歴史主義、カルチュラル・スタディーズ等の方法論を論じた。

大学院修士課程では、Aphra Behnの称賛詩や哀歌をテキストに、王党派女性詩人としての政治性を論じた。

## ◆研究計画

イギリス内乱期の文学を、テキスト自体にとどまらず、出版形態、読者層の設定、検閲への対処、ジャンルをはじめとする多様な文化的コードの使用等、テキストを取り巻くいわばテキスト文化の総体として読み解くことをめざしている。

## ◆メッセージ

外国語を学ぶことは、その言語の運用能力を高めるだけでなく、言語を通じてなされる人間の様々な文化的営為を通じ、人間や社会や芸術について理解を深めることでもあります。言葉そのものよりも、言葉の向こうに何が見えるかを常に探求する姿勢を持ってください。また、そのような学生さんが入学してくれることを願っています。